

お知らせ

〈2003年1月から2009年12月までに川崎医科大学附属病院で全身型重症筋無力症に対して手術を受けられた患者さんへ〉

2003年1月から2009年12月までに当院で全身型重症筋無力症のため手術を受けられた方を対象に、全身型重症筋無力症に対する術前ステロイド使用の有用性に関する検討を行っています。術前のステロイド治療は重症筋無力症の症状を安定化させ術後の症状増悪を予防できると考えられていますが一部で副作用も認められます。本研究は手術前のステロイド投与が安全に行われ、かつ効果があったかを確認することが目的です。具体的には診療記録を参考にして、術前のプレドニン使用量の違いにより術後合併症、重症筋無力症の症状改善率を評価致します。結果は今後の診療に役立たせていただきますのでご了承の程お願い致します。なお遺伝子の検索は行っておりません。本研究の結果は論文等で報告する予定ですが、個人情報厳密に管理致します。本研究に同意されない場合は川崎医科大学附属病院呼吸器外科ホームページから電子メール([gts@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:gts@med.kawasaki-m.ac.jp))、または呼吸器外科学実験室(直通 086-464-1124)を通して主任研究者・平見までご連絡をお願い致します。なお、この研究は川崎医科大学倫理委員会の審査・承認を得ていますことを申しそえます。

主任研究者：川崎医科大学呼吸器外科学 講師 平見有二